

新入生のみなさんへ

飯塚 容 (いづか・ゆとり)

ご入学おめでとうございます。

これから四年間の大学生活が始まりますが、みなさんに要望したいことが三つあります。一つ目は、本をたくさん読むことです。文学部に入学するみなさんに言うべきことではないかもしれませんが、若い世代の読書時間が激減しているという現実があります。二つ目は、友だちをたくさん作ることです。日本各地から集まってきた、多様な経歴もつ人たちと友だちになれば、今後の人生はより豊かなものになるでしょう。三つ目は、たくさん趣味をもつことです。できれば文化面とスポーツ面で、一生続けられる趣味を見つけてください。

ところで、今年は新型コロナウイルスの影響で、入学式が中止、授業開始も遅れることになってしまいました。張り切って勉強しようと思っていたみなさんは氣勢をそがれると同時に、不安を感じているかもしれません。でも、このピンチをチャンスに変えましょう。先ほどの要望の一つ目、本を読むことは今日から始められます。別途、みなさんに配布される「おすすめの本」リストを手掛かりにして、授業開始までに何冊読めるか、ぜひチャレンジしてください。

教室でみなさんに会える日を楽しみにしています。

新入生の皆さんへ

石村 広 (いしむら・ひろし)

ご入学おめでとうございます。

私は中国語の文法を研究しています。「文法」と聞くと理屈っぽくて難しそうに感じるかもしれませんが、それは誤解です。文法とは文を作る（語を配列する）規則のことですから、本来はシンプルで分かりやすいものなのです。実際に、言語を司る人間の脳は入ってきた情報、とりわけ音声を即座に処理する必要があるため、余計な負担がかからないように規則の数を極力少なくしようとします。現代中国語のフレーズには日本語と同じ語順も多いので、慣れるのにさほど時間はかかりません（ただし発音はまったく違います）。

『論語』雍也篇の中に「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」という言葉があります。これは一言でいうと「上達したければ楽しもう」ということです。中国語が使えるようになったらどんな自分になっているか楽しい想像を膨らませながら勉学に励み、充実した学生時代を過ごしてほしいと思います。

「できる自分」が待っている

榎本 泰子（えのもと・やすこ）

皆さん、入学おめでとうございます。せっかく大学生になれると思ったら、入学式も行われないうちで、予想もしない事態になってしまいましたね。授業開始も遅れるそうで、やや不安なスタートではありますが、その分、先の楽しみが増えた、と考えるのはいかがでしょう。

新しい環境に足を踏み入れると、知らない自分や知らない世界に出会えます。特に皆さんはこれから、中国語という新しい言語の勉強を始めるので、それによって何ができるようになるのか楽しみです。例えば武漢へ行ってこんな会話をしている自分を想像してみましょう。

「你吃蝙蝠吗？（あなたはコウモリを食べますか）」

「我不吃蝙蝠。（私はコウモリを食べません）」

とてもタイムリーで、重要なコミュニケーションが成立しました。中国語ができない人にはどうして不可能なことです。「できる自分」がかっこいいですね。

これからの4年間、どんな自分を目指すかは、あなた次第です！

新入生のみなさんへ

及川 淳子（おいかわ・じゅんこ）

ご入学おめでとうございます。

ようこそ中央大学へ！そして、ようこそ中国言語文化専攻へ！熱烈歓迎！

いま、どんな気持ちでしょうか。期待を膨らませている人もいれば、不安を抱えている人もいるでしょう。希望を叶えた人もいれば、思い通りにならずに、複雑な気持ちの人もいるかもしれません。授業開始が延期され、心配なことも多いと思います。このような情勢ですから、まずは健康第一ですね。

みなさんに、三つの「あい」——「出会い、ふれあい、語りあい」という言葉を贈りたいと思います。大学では、様々な出会いがみなさんを待っています。人との出会い、中国語との出会い、新たな世界との出会いです。様々な出会いを大切に、触れあい、そして、色々な人と語り合ってください。

みなさんの大学生活が、実り多いものになりますように。私も精一杯サポートしたいと思います。共に学び、共に語り合しましょう。

新学期にお会いできることを、心待ちにしています。

新入生のみなさんへ

材木谷 敦 (ざいもくや・あつし)

ご入学おめでとうございます。

特殊な状況下で入学の時期を迎え、新入生のみなさんは何かと落ち着かない日々を過ごしていることでしょう。早く安心して学生生活が送れるようにと願っています。

最近、世界的に、人々の中華人民共和国に対する印象が悪化しています。日本社会も例外ではありません。当分の間、中国語を専門に学び中国学を究めることを志す日本の若者は、増えにくいでしょう。そう考えると、当分の間、みなさんには希少価値があることになりそうです。中国言語文化専攻を、深く考えて志望したのであれ、たまたま何となく志望したのであれ、ラッキーです。何かと落ち着かない日々でも、そう思って過ごしてください。

これからは、何に興味があってもなくても、中国語をよく勉強して中国学関係の本を手当たり次第に読んでください。この専攻での充実感の大部分は中国語能力の向上と中国学的知識の増加に比例します。

やがて始まる授業期間に、ラッキーなみなさんとお会いすることを楽しみにしています。